

## 事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業	事業実施計画期間	平成27年度～平成31年度(5年間)												
事業実施地区名 (都道府県名)	(あぶくまがわ) 阿武隈川森林計画区 (福島県)	事業実施主体	関東森林管理局 福島森林管理署白河支署												
事業の概要・目的	<p>当支署は、福島県中央部に位置し阿武隈川森林計画区92千haの内の南部に位置する国有林野約34千haの管理経営を行っている。</p> <p>当森林計画区の国有林は、奥羽山脈と阿武隈山地に大別される。</p> <p>奥羽山脈に位置する国有林は、計画区の中央部を流れる阿武隈川及び阿賀野川の支流鶴沼川の源流部は広葉樹を主体とした天然林が広がり、水源涵養機能が期待される森林であるとともに、優れた景観を有することから日光国立公園及び大川羽鳥県立自然公園にも指定され、レクリエーションの森とともに保健文化機能の発揮が期待される森林である。また、クマタカ等の猛禽類も生息し生物多様性の維持・保全が期待されている地域である。</p> <p>一方、奥羽山脈の裾野及び阿武隈山地に位置する国有林は人工林率が高く、スギ、ヒノキ、アカマツなどの優良な木材が産出され地元を始め北関東圏の林業・林産業の発展に寄与してきており、今後においても期待されている地域であるとともに、山間地域の重要な水源地として利用されている。また、人工林の約7割が利用期に達しており、森林資源の循環利用を推進し、地球温暖化防止に貢献するため将来の二酸化炭素吸収量を継続的に確保する観点から、主伐と再造林による森林資源の若返りを図る必要がある。</p> <p>このように当森林計画区の国有林は、水源涵養機能、山地災害防止機能、保健・レクリエーション機能、文化機能、生物多様性保全機能及び木材等生産機能等の発揮が期待されており、森林の持つ多面的機能の持続的な発揮を確保していくため、主伐や森林整備を通して木材の安定的に供給しつつ、水源涵養機能等の発揮及び生物多様性の保全を図るとともに、二酸化炭素の吸収源として地球温暖化の防止等の効果を高めるため、森林の重視すべき機能の区分に応じ、伐採跡地における植栽等の更新作業並びに、下刈及び間伐等の森林整備を実施する。また、森林整備を効率的に実施するために、林業専用道の新設や既設路線の改良を併せて実施する。</p> <table style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 30%;">主な事業内容</td> <td style="width: 20%;">森林整備</td> <td style="width: 10%;">更新面積</td> <td style="width: 10%;">1,138 ha</td> <td style="width: 10%;">保育面積</td> <td style="width: 10%;">6,754 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>60.5 km</td> <td>改良延長</td> <td>3.1 km</td> </tr> </table> <p style="margin-top: 10px;">総事業費 <span style="float: right;">3,872,883 千円</span></p>			主な事業内容	森林整備	更新面積	1,138 ha	保育面積	6,754 ha		路網整備	開設延長	60.5 km	改良延長	3.1 km
主な事業内容	森林整備	更新面積	1,138 ha	保育面積	6,754 ha										
	路網整備	開設延長	60.5 km	改良延長	3.1 km										
費用対効果分析	総便益(B)	16,158,562 千円													
	総費用(C)	5,037,908 千円													
	分析結果(B/C)	3.21													
関東森林管理局事業評価技術検討会の意見	森林の持つ公益的機能を発揮するために、必要な森林整備、路網整備であり、必要性、効率性、有効性が認められる。														

<p>評価結果</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li> <p>・ 必要性      水源の涵養<sup>かん</sup>や山地災害の防止、地球温暖化防止及び保健休養等の公益的機能の発揮や林産物の供給が求められている地域であり、本事業の実施により多面的機能の発揮が図られるとともに林産物の有効活用による地域振興にも寄与することから事業の必要性が認められる。</p> </li> <li> <p>・ 効率性      費用対効果分析の結果から事業の効率性が認められる。</p> </li> <li> <p>・ 有効性      事業計画は、地域の特性を踏まえ、必要な更新、保育等の森林整備となっており、多面的機能を発揮する健全な森林の育成に資するものとなっている。また、路網整備についても森林整備と連携したものとなっており、事業の有効性が認められる。</p> <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的<sup>かん</sup>に評価したところ、森林の重視すべき機能（特に水源涵養<sup>かん</sup>）に応じた適切な森林整備及び路網整備が効率的に計画されているものと認められる。</p> </li> </ul>
-------------	--

様式 1

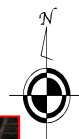
## 便 益 集 計 表 (森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業  
 施行箇所：阿武隈川森林計画区

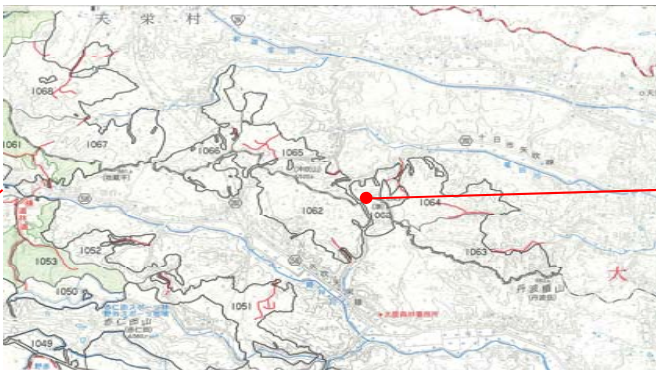
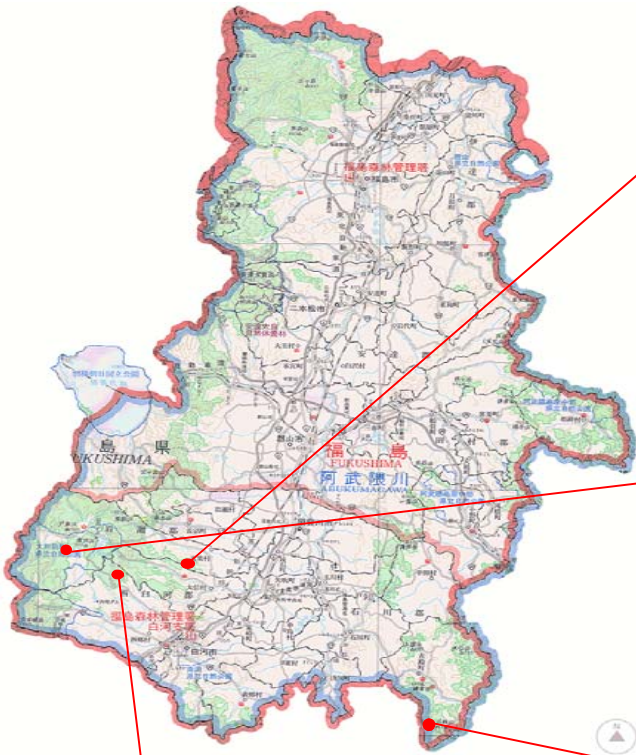
都道府県名：福島  
 (単位:千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源涵養 <sup>かん</sup> 便益	洪水防止便益	2,791,083	
	流域貯水便益	875,605	
	水質浄化便益	3,267,334	
山地保全便益	土砂流出防止便益	4,778,434	
環境保全便益	炭素固定便益	1,422,251	
木材生産等便益	木材生産等経費縮減便益	393,137	
	木材利用増進便益	3,065	
	木材生産確保・増進便益	1,843,675	
森林整備経費縮減等便益	森林管理等経費縮減便益	19,794	
	森林整備促進便益	764,184	
総 便 益 (B)		16,158,562	
総 費 用 (C)		5,037,908	千円
費用便益比	$B \div C = \frac{16,158,562}{5,037,908}$		= 3.21

# 森林環境保全整備事業 阿武隈川森林計画図(白河支署管内) 事業概要図



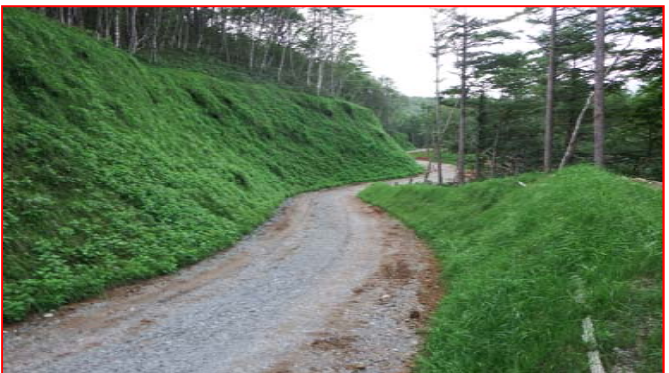
阿武隈川森林計画図



路網整備事業

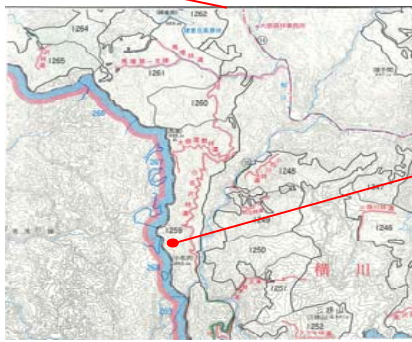


丹波楯山林業専用道新設工事 村松国有林



一本木林業専用道改良工事 戸倉山国有林

森林整備状況(下刈作業) 羽太国有林



森林整備状況(保育間伐) 三株山国有林